

常任委員会審査

町長提出議案は、総務建設産業常任委員会で4件、文教民生常任委員会で8件を、それぞれ審議し、すべて原案どおり可決しました。以下は、議員が町の執行部（町長以下町の職員）に質問したものの抜粋です。

総務建設産業常任委員会



町制記念公園第2球場の企業看板設置個所（21区画）
官・民一体となり町の活性化を図る取り組み

給食調理業務

問 北保育所給食調理業務は3年間で1億514万円、南保育所は6835万円で前回と今回の増減額とその理由は。

答 債務負担行為額を比較すると、北保育所は635万円増、南保育所は940万円増。主な原因は人件費の増額である。

問 北・南保育所の給食数はどのくらいか。

答 北保育所は年間約3万9400食、一日平均153食を見込んでいる。南保育所は平日は園児65食、職員15食、合計80食である。土曜日は、園児20食、職員4食の24食である。

水道事業

問 業務委託先と内容は。現在委託している業者は、浄水場・配水場運転管理業務は武田エンジニアリング(株)、水道料金の徴収事務の業務委託は日本ウォーターテックス(株)。業務内容は、施設機

器の運転、異常時の対応、施設内外の巡視及び諸計器の点検、薬品の管理、水質測定、平日夜間と休日の問い合わせ等の電話対応。徴収事務等の業務委託は、水道メーターの検針、検針事務及び測定事務並びに窓口事務、水道の開閉栓事務及び処理。

第2球場の企業広告

問 都市公園の定義の対

象は。

答 都市公園法に基づき告示をした公園である。小さな街区公園や記念公園なども都市公園となる。

問 広告使用料1㎡当り年2万円の根拠は。

答 1日当り40円で算定し、1区画当り2・5㎡だから年間3万6500円となる。これに広告主のイメージアップ等の価値分を含めて5万円とした。

文教民生常任委員会

特定地域型保育と私立保育園

問 特定地域型保育運営事業と私立保育園運営事業の増額は、子どもの数が予定より増えたということか。

答 特定地域型保育園は町内に3か所、定員は57名。今年度の入所率見込みを当初89%としたが、

98%となった。私立保育園は町内に6か所、定員は480名。入所率見込みが当初の100%から106%となった。

学校へのエアコン設置

問 小中学校のエアコンの設計費について、各学校での特別教室にエアコンを設置する予定か。

答 小室小学校と小針小



南保育所を視察し、保育所の概要と日課・年間行事などの説明を受けました

問 所得制限の廃止に、
学校が家庭科室、理科室、
図工室、ランチルーム。
南小学校が家庭科室、図
工室、被服室の計11教室。
他に中学校では、来年度
普通教室に変更する小針
中学校2教室、南中学校
1教室。

答 未就学児の医療費は、
埼玉県の助成対象なので、
完納要件から除外した。
問 子ども医療費の受給
対象者に占める滞納世帯
の子どもの割合は。
答 子ども医療費の受給
対象者が8300人に対

し、滞納の世帯数が18
0世帯、子どもの数が3
20人なので、割合は約
3・8%となる。
問 滞納の理由は何か。
答 最も多いのはうつか
り忘れ、次に納税怠慢、
他の支払いを優先させる
など。これらは履行の請
求をすると、解消に向か
う。生活困窮や事業不振
の場合は、内容を確認し
て、納税の緩和措置をす
ることもある。
問 税の完納要件を導入
するに当たって、周知を図
る方法は。
答 広報いな、町ホーム
ページ、催告書に対象者
への案内通知を同封する
などを検討する。
問 延納の場合完納すれ
ば、それで終わるのか。
答 滞納処分では、未納
分と延滞金を完納しても
らう。
問 延滞金の利息は。
答 平成30年中は、年8
・9%となっている。



12人が登壇

議員が町政全般について、町
長以下町職員（執行部）に問い
質します。

12月定例会は、12人の議員が
質問しました。

主な質疑応答を、質問した議
員が要約して掲載します。

なお、会議中の発言と答弁の
詳細は、伊奈町議会ホームペ
ージおよび図書館に備えてある会
議録でご覧になれます。（3月下旬掲載）

ページ	質問議員	質問事項
10	栗原恵子	●企業誘致に関する取組みについて ●埼玉新都市交通（ニューシャトル）通学定期券について ●雪害対策について
10	大沢 淳	●会計年度任用職員制度の導入に向けて ●女性活躍推進法に関する町の取り組み ●成人雑誌・有害図書類を青少年に見せない環境整備
11	村山正弘	●中部特定土地区画整理事業 ●大字小室の整理 ●消費税 10%の予測対応検討
11	五味雅美	●国保財政に繰り入れの継続を ●学力テストの見直しを ●水道事業民営化は反対を ●給食センターの設備の改善を ●学校家庭科教室の改善を
12	中原敦子	●社会的擁護の必要な子ども達が健やかに育つために ●パブリックルームの利用について
12	青木久男	●高齢者等の消費者被害を防止するために ●認知症高齢者等の徘徊について ●女性の活躍を推進するために ●教職員の働き方改革の一環として
13	上野尚徳	●2040年問題。伊奈町が自治体として、持続・機能していくためには ●避難所に地区集会所の活用を ●ファーマーズマーケット（朝市）を開催し、農業関係者、商店、飲食店、ハン ドメイド作家など、町民参加の「町を元気に、町を楽しむ」取り組みを
13	水上邦雄	●伊奈町の農業について ●風疹ワクチンについて ●障がい者雇用について
14	上野克也	●災害対応におけるSNSおよびIT活用について ●災害時における各種実施状況等について ●小中学校の普通教室以外の教室および体育館へのエアコン設置について
14	戸張光枝	●部活動遠征時の携帯電話所持一律許可へ ●発達障害児の早期発見のために5歳児健診実施へ ●地球温暖化防止のために
15	藤原義春	●伊奈町立の小学校をコミュニティスクールに ●伊奈町立の中学校と地域との連携を ●中学校の英語指導助手（ALT）の増員 ●伊奈町の若者の交流の場の設定 ●子供の貧困対策 ●英検3級の取得状況
15	奥田とみ子	●風しんの拡散を阻止するために ●共生社会の実現を目指して「ユニバーサルマナー」を推進するには

伊奈町議会 検索